

(第1号議案)

2023年度事業報告

(2023年3月1日から2024年2月28日まで)

一般社団法人溶接学会

(第1号議案) 2023年度 事業報告
(2023年3月1日から2024年2月28日まで)

本会は、2023年度において次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第4条1項)

1.1 春季全国大会

2023年4月25日～5月9日：オンライン開催

学術総合センターのコロナ感染対策(利用会議室等の着席名簿提出)に変更がなく、現地開催を中止とし、WEB開催を実行した。一般講演をオンデマンド形式とし、特別講演・シンポジウム、フォーラム(界面接合研究委員会主催)をTeams、若手の会イブニングフォーラム(若手会員の会主催)をRemo Conferenceによる同時双方向型のライブ開催とした。

研究発表講演(93件)、特別講演・シンポジウム(計7件)、フォーラム(講演6件)、若手の会イブニングフォーラム(参加14名)

参加者 369名

1.2 秋季全国大会

2023年9月13日～15日：富山大学五福キャンパス(富山県富山市)

特別講演、フォーラム(溶接法研究委員会主催)、支部主催のワークショップ(日本溶接協会との共催)と技術セッション(北陸溶接協会協賛)、若手の会ポスターセッション(若手会員の会主催)、木原賞・金澤賞業績講演(溶接接合工学振興会との共催)、次世代を担う研究者助成事業の成果報告会(日本溶接協会との共催)を実行した。

研究発表講演(168件)、ポスター発表(55件)、特別講演(1件)、フォーラム(7件)、ワークショップ(講演10件)、技術セッション(講演5件)、木原賞・金澤賞業績講演(4件)、次世代を担う研究者助成事業の成果報告会(3件)、展示ブース(40社)、

参加者 441名

2. 講習会 (定款第4条1項)

2.1 2023年度溶接入門講座(第58回)

会期 2023年6月6日(火)、7日(水)

会場 ハイブリッド方式にて開催

受講者 54名

2023年度溶接入門講座(第59回)

会期 2023年10月30日(月)、31日(火)

会場 ハイブリッド方式にて開催

受講者 36名

2.2 2023年度溶接工学夏季大学(第71回)「中堅技術者講座」

会期 2023年7月24日(月)～8月7日(月)

会場 オンデマンド配信方式にて開催

受講者 28名

2.3 2023年度溶接工学専門講座(第10回)

高エネルギー加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催

「ものづくり力伝承講座」～最新レーザ溶接を知る～

会期 2023年10月3日(火)

会場 大阪大学 医学・工学研究科 東京ランチ

受講者 16名

2.4 2023年度溶接工学企画講座(第5回)

編集委員会と溶接教育委員会の共同開催

「ものづくりのベースとなる研究・開発のレビュー&トレンド

～「二相ステンレス鋼の溶接部性能確保のポイントと組織制御」～

会期 2023年11月9日(木)

会場 大阪大学 医学・工学研究科 東京ランチ

受講者 21名

3. 刊行（定款第4条3項）

3.1 溶接学会誌 92巻2号～93巻1号（8冊）

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接・接合基礎講座、実験指南、集まれエンジニア、受賞者講座、随筆他

3.2 溶接学会論文集 41巻2号～42巻1号（4冊）（WEB）

主な内容 研究論文 41篇（2024.2.7現在）

3.3 全国大会講演概要集 第112集および第113集（2冊）

3.4 2023年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動（定款第4条1項）

4.1 研究推進部会（山本 元道 部会長）

WEB開催1回、対面開催1回で会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整、アドホック研究会の活性化、全国大会運営の活性化、論文特集号の計画を行った。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「ゼロカーボンを支える界面接合，基礎から最新適用例」

（界面接合研究委員会）を、オンラインによって開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「新溶接アーク現象のその先へ」（溶接法研究委員会）を対面開催した。

(3) 高エネルギービーム加工研究委員会が企画し、2023年10月3日に溶接工学専門講座「最新レーザー溶接を知る」を対面形式で開催した。

(4) 溶接構造研究委員会主催で、2023年11月28～29日に「カーボンニュートラル社会を担う溶接構造化技術」溶接構造シンポジウム2023を対面形式（大阪大学）開催した。

(5) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、2024年1月23～24日に第30回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム（Mate2024）を対面形式（横浜市）開催した。

(6) 編集委員会から要望のあった特集号企画に対して、特集号（年1回程度）を各研究委員会が持ち回りで受け持ち、論文特集号をオーガナイズすることになった。2023年度は、第4回目となり、マイクロ接合研究委員会・界面接合研究委員会が担当し、10報の論文が掲載された。

(7) アドホック研究会「大型構造物の製作、維持管理における溶接プロセスの高精度、高機能化」東康二（崇城大）（2022年3月1日～2023年9月30日）

2023年3月10日に国際ジョイントセミナー「Hungary-Korea-Japan Joint Seminar on Design, Fabrication and Maintenance of Welded Steel Structures」をオンラインで開催した。2023年4月28日に第1回研究会を開催し、IIW2023にて研究発表を行う予定となる論文3編について、その概要を共有、発表の可否を審査、決定した。3編は2023年7月19日IIW2023 C-XVにて発表された。2023年9月8日に第2回研究会を開催し、併せて自動溶接機の製作会社の見学会を開催した。「Hungary-Korea-Japan Joint Seminar on Design, Fabrication and Maintenance of Welded Steel Structures」を2024年3月1日にオンラインにて開催することをメール会議にて決定した。

4.2 溶接構造研究委員会（中谷光良委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第245回	2023.03.17	東京	18	研究報告 4件 日本船舶海洋工学会と合同開催
第246回	2023.05.29	大阪	21	研究報告 3件
第247回	2023.07.28	青森	18	研究報告 4件 QST見学
シンポジウム	2023.11.28～29	大阪	189	溶接構造シンポジウム2023 第248回と併催
第249回	2024.01.29	東京	18	研究報告 3件

4.3 溶接法研究委員会（田中学委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第261回	2023.05.09	東京 ハイブリッド	81	研究報告 5件
第262回	2023.08.08	大阪	65	研究報告 5件

		ハイブリッド		
第 263 回	2023. 10. 19～20	北海道 ハイブリッド	24, 49	研究報告 4 件 NICHIGO 等見学
第 264 回	2024. 01. 24～25	東京 ハイブリッド	88, 67	研究報告 5 件

4.4 溶接冶金研究委員会（佐藤裕委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 253 回	2023. 05. 31	東京	23	研究報告 4 件
第 254 回	2023. 09. 04	大阪	27	研究報告 5 件
第 255 回	2023. 10. 23～24	東京	11, 15	研究報告 2 件 IHI 見学
第 256 回	2024. 01. 22	東京	27	研究報告 4 件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 277 回	2023. 04. 14	東京	19	研究報告 4 件
第 278 回	2023. 07. 07	東京	21	研究報告 5 件
第 279 回	2023. 11. 22	東京	10	海上技術安全研究所見学のみ
第 280 回	2024. 01. 19	東京	21	研究報告 5 件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（塚本雅裕委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 102 回	2023. 06. 09	東京	31	研究報告 4 件
専門講座	2023. 10. 03	東京	16	最新レーザ溶接を知る
第 103 回	2023. 12. 04	千葉	21	研究報告 2 件 古河電気工業 見学
第 104 回	2024. 01. 25	大阪	17	研究報告 2 件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（藤井英俊委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 141 回	2023. 06. 02	東京	40	研究報告 5 件
第 142 回	2023. 09. 08	大阪	23	研究報告 4 件
第 143 回	2023. 11. 21	名古屋	18	研究報告 2 件 (株)キョクトー見学
第 144 回	2024. 01. 15	東京	31	研究報告 6 件

4.8 マイクロ接合研究委員会（福本信次委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 141 回	2023. 05. 12	東京	31	研究報告 6 件
第 142 回	2023. 07. 05	東京	38	研究報告 4 件
第 143 回	2023. 09. 11	東京	25	研究報告 6 件

第 144 回	2023. 12. 05	東京	27	研究報告 6 件
シンポジウム	2024. 01. 24～25	横浜	447	Mate2024 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（山崎敬久委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 123 回	2023. 05. 19	東京	27	研究報告 4 件
第 124 回	2023. 10. 20	東京	25	研究報告 4 件 日本溶接協会先端材料接合委員会と合同
第 125 回	2024. 01. 26	東京	25	研究報告 4 件

5. 国内活動（定款 4 条項 4）

5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：(一社)軽金属学会「第 145 回秋期大会ご案内」(2023. 11. 10～12)
- (2) 協賛：(一社)日本熱処理技術協会「第 28 回熱処理国際会議 (28th IFHTSE Congress)」(2023. 11. 13～16)
- (3) 協賛：(一社)軽金属学会「低温接合委員会シンポジウム：カーボンニュートラルに貢献するリサイクルとアルミニウムろう付技術」(2023. 9. 1)
- (4) 協賛：(一社)日本計算工学会「サマースクール 2023：非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」(2023. 8. 9)
- (5) 協賛：(一社)日本保全学会「第 19 回学術講演会」(2023. 8. 27～29)
- (6) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会 第 349 回例会」(2023. 7. 11)
- (7) 協賛：(公社)日本材料学会「第 53 回初心者のための有限要素法講習会 第 1、2 部」(2023. 7. 18, 24, 25)
- (8) 協賛：(公社)腐食防食学会「第 48 回技術コロージョン・セミナー」(2023. 9. 13～15)
- (9) 協賛：(公社)腐食防食学会「第 70 回材料と環境討論会」(2023. 10. 30～11. 1)
- (10) 協賛：(一社)軽金属学会「第 128 回シンポジウム「アルミニウムのアップグレードリサイクル技術」(2023. 5. 31)
- (11) 協賛：(公社)日本ガスタービン学会「日本ガスタービン学会定期講演会」(2023. 10. 4～10. 5)
- (12) 後援：(一社)日本溶接協会「次世代革新炉開発の現状と構造・材料への期待」(2023. 7. 24)
- (13) 後援：(一社)日本溶接協会「デジタルラジオグラフィに関する技術講習会」(2023. 7. 19, 20, 24, 25)
- (14) 後援：(一社)日本非破壊検査協会「第 1 回 NDE 4.0 シンポジウム」(2023. 10. 30)
- (15) 協賛：(一社)スマートプロセス学会「スマートプロセス学会 2023 年度学術講演会」(2023. 11. 10)
- (16) 協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第 74 回白石記念講座 新たなものづくり:3D 積層造形 (Additive Manufacturing) の技術開発動向」(2023. 10. 17)
- (17) 協賛：(一社)日本鉄鋼協会「第 249・250 回西山記念技術講座 環境劣化の腐食科学と防食技術の新展開」(2023. 11. 2～11. 30)
- (18) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「HPI 技術セミナー エネルギー貯槽技術の最新動向」(2023. 10. 24)
- (19) 協賛：(公社)日本機械学会「M&M2023 材料力学カンファレンス」(2023. 9. 27～9. 29)
- (20) 協賛：(公社)日本機械学会「第 30 回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2023)」(2023. 9. 27～9. 29)
- (21) 協賛：(公社)日本材料学会「2023 年度 JCOM 若手シンポジウム」(2023. 9. 6～9. 8)
- (22) 協賛：(公社)日本材料学会「第 41 回初心者のための疲労設計講習会」(2023. 9. 11～9. 12)
- (23) 後援：(一社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会ーガス、プラズマ、レーザ切断の勘所」(2023. 11. 2)
- (24) 協賛：(公社)日本接着学会「第 32 回構造接着・精密接着シンポジウム」および「新製品、新技術紹介セミナー」(2023. 11. 30)
- (25) 協賛：(公社)日本材料学会「2023 年度 材料試験士 技能検定講習」(2023. 10. 26～10. 27)
- (26) 協賛：(公社)日本材料学会「2023 年度 材料試験士 技能検定試験」(2023. 11. 2)
- (27) 協賛：(一社)強化プラスチック協会「68th ERP CON-EX2023」(2023. 10. 26～10. 27)
- (28) 協賛：(一社)軽金属学会「令和 5 年度軽金属基礎技術講座 アルミニウムの製造技術」(2023. 11. 16～11. 17)
- (29) 協賛：(公社)日本材料学会「第 9 回フラクトグラフィ講習会」(2023. 10. 10～10. 11)
- (30) 協賛：(公社)日本材料学会「第 42 回初心者のための疲労設計講習会」(2023. 10. 11～10. 12)
- (31) 協賛：(公社)日本機械学会「もう一度学ぶ機械材料学 (金属材料の基礎)」(2023. 9. 21)
- (32) 後援：(公財)溶接接合工学振興会「32 回 セミナー 実現に向けた エネルギー施策とモノづくり技術」(2023. 11. 7)
- (33) 後援：(一社)日本工業炉協会「2023 年度 日本工業炉協会 いい炉の日 (11 月 6 日) 記念講演会」(2023. 11. 06～11. 07)
- (34) 後援：(一社)日本溶接協会「DX・AX の現状と溶接・接合技術への展開」(2023. 11. 06)
- (35) 後援：大阪大学接合科学研究所「東京セミナー スマートレーザビームプロセスの新展開」(2023. 10. 30)
- (36) 協賛：(公社)日本材料学会「第 20 回ノートパソコンでできる原子レベルでのシミュレーション入門講習会」(2023. 12. 7～12. 8)
- (37) 協賛：(公社)日本材料学会「防食腐食部門委員会 第 351 回例会」(2023. 11. 13)
- (38) 協賛：(公社)日本材料学会「第 60 回 X 線材料強度に関する検討会」(2023. 11. 30～12. 01)
- (39) 後援：(公社)日本アイソトープ協会「第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会」(2024. 07. 01)

- (40) 協賛：(一社) 軽金属学会「令和5年度軽金属セミナー アルミニウム合金の組織 入門編、中級編、応用編」(2023. 1. 21、12. 19、2024. 02. 02)
- (41) 協賛：(公社) 腐食防食学会「第198回腐食防食シンポジウム微生物腐食における最新のプロジェクト研究成果および事例紹介」(2023. 12. 11)
- (42) 協賛：(一社) 日本計算工学会「ウインタースクール トポロジー最適化の基礎-積層造形によるものづくりへの応用」(2024. 03. 04~03. 05)
- (43) 協賛：(一社) 日本非破壊検査協会「第31回 超音波による非破壊評価シンポジウム」(2024. 01. 23~01. 24)
- (44) 後援：(一社) 日本溶接協会「原子力プラント機器の健全性評価に関する講習会」(2023. 12. 12~12. 13)
- (45) 協賛：(一社) 軽金属学会第130回シンポジウム「軽量車両構体の信頼性を高めるための材料評価技術~難燃性マグネシウム合金を事例として~」(2024. 01. 26)
- (46) 後援：(一社) 日本溶接協会「溶接トラブル事例に学ぶステンレス鋼の有効活用と信頼性確保」(2024. 01. 19)
- (47) 後援：(一社) 日本溶接協会「第21回 溶接の研究講習会」(2023. 11. 29)
- (48) 協賛：(公社) 日本ガスタービン学会「第52回ガスタービンセミナー ガスタービンの脱炭素社会実現に向けた取り組みと最新技術動向」(2024. 01. 30~01. 31)
- (49) 協賛：(一社) 日本高圧力技術協会「オンライン技術セミナー ASME と JIS における圧力容器規格の最新動向」(2024. 01. 23)
- (50) 後援：(公財) 高輝度光科学研究センター(JASRI) 及び SPring-8 利用推進協議会「第19回 SPring-8 金属材料評価研究会/第97回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ 金属材料開発における SPring-8 活用の最近のトピックス」(2024. 01. 16)
- (51) 協賛：(一社) 軽金属学会「第129回シンポジウム カーボンニュートラルを実現する水素社会とアルミニウム」(2024. 01. 19)
- (52) 協賛：(一社) 日本機械学会「第28回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」(2024. 01. 27)
- (53) 協賛：(一社) 日本機械学会「炭素繊維強化複合材料の疲労破壊特製の基礎と寿命評価技術」(2024. 01. 19)
- (54) 後援：(一社) 日本溶接協会「LMP シンポジウム 2024 レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向」(2024. 03. 07~03. 08)
- (55) 協賛：(公社) 日本材料学会「防食腐食部門委員会 第352回例会」(2024. 01. 23)
- (56) 協賛：(公社) レーザ加工学会「SLPC2024 第5回スマートプロセス会議」(2024. 04. 23~04. 25)
- (57) 協賛：(一社) 日本学術会議「原子力総合シンポジウム 2023」(2024. 01. 22)
- (58) 協賛：(一社) エレクトロニクス実装学会「第38回 エレクトロニクス実装学会 春季講演大会」(2024. 03. 13~03. 15)
- (59) 協賛：(一社) 軽金属学会「第146回春期大会」(2024. 05. 10~05. 12)
- (60) 協賛：(公社) 日本計算工学会「第29回計算工学講演会」(2024. 06. 10~06. 12)
- (61) 協賛：(一社) 軽金属学会「第131回シンポジウム アルミニウム合金同種および異種材料との接合技術最前線~マルチマテリアル化のキーテクノロジー~」(2024. 03. 01)
- (62) 協賛：(公社) 画像センシング技術研究会「SSII2024 第30回画像センシングシンポジウム」(2024. 06. 12~06. 14)
- (63) 協賛：(公社) 日本材料学会「第15回複合材料会議(JCCM-15)」(2024. 03. 13~03. 15)
- (64) 協賛：(公社) 日本材料学会「第9回初心者にもわかる信頼性工学セミナー」(2024. 02. 26~02. 27)
- (65) 協賛：(一社) 日本保全学会「第23回保全セミナー」(2024. 02. 26)
- (66) 協賛：(一社) 日本溶接協会「2024 国際ウエルディングショー」(2024. 04. 24~04. 27)
- (67) 協賛：(一社) 日本非破壊検査協会「第14回放射線による非破壊評価シンポジウム」(2024. 03. 04~03. 05)
- (68) 協賛：(一社) 日本塑性加工学会「2024年度塑性加工春季講演会」(2024. 05. 15~05. 17)
- (69) 協賛：(一社) 日本非破壊検査協会「第27回電磁気応用部門・磁粉・浸透・目視部門・漏れ試験部門合同シンポジウム 表面探傷技術による健全性診断、品質検査」(2024. 03. 19)
- (70) 協賛：(一社) 日本非破壊検査協会「第54回 応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(2024. 01. 20)
- (71) 協賛：(公社) 日本工学会「第5回世界エンジンエンジニアリングデー記念シンポジウム」(2024. 03. 04)
- (72) 協賛：(一社) 日本機械学会「AI, リモート時代の資料作成, プレゼン技術」(2024. 03. 13)
- (73) 協賛：(一社) プラズマ・核融合学会「第15回核融合エネルギー連合講演会」(2024. 06. 13~06. 14)
- (74)：(公財) 日本材料学会「第9回マルチスケール材料力学シンポジウム」(2024. 05. 24)
- (75)：(公財) 日本材料学会「第58回X線材料強度に関するシンポジウム」(2024. 07. 18~07. 19)
- (76) 協賛：(一社) 日本接着学会「第62回日本接着学会年次大会」(2024. 06. 27~06. 28)
- (77) 協賛：(一社) 日本機械学会「機械材料・材料加工のシミュレーション・計測と力学(第4回: 材料への治癒・修復機能付与)」(2024. 06. 18)
- (78) 協賛：(一社) 日本鉄鋼協会「西山記念技術講座 今後激変することが予想される鉄源の確保に向けて」(2024. 05. 24, 05. 31)
- (79) 協賛：(一社) 日本鉄鋼協会「西山記念技術講座 最新シミュレーション技術の進歩と鉄鋼業への展開」(2024. 10. 16, 06. 30)
- (80) 協賛：(一社) 日本鉄鋼協会「白石記念講座 データ駆動型材料開発の最前線とその適用例」(2024. 11. 21)
- (81) 協賛：(一社) 日本能率協会「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2024」(2024. 07. 24~07. 26)
- (82) 協賛：(公社) 自動車技術会「第22回 学生フォーミュラ日本大会 2024-ものづくり・デザインコンペティション」(2024. 09. 09~09. 14)
- (83) 協賛：(公社) 日本材料学会「防食腐食部門委員会 第354回例会」(2024. 05. 14)
- (84) 協賛：(一社) エレクトロニクス実装学会「2024 International Conference on Electronics Packaging (ICEP)」(2024. 04. 17~04. 20)
- (85) 協賛：(公財) 腐食防食学会「第93回技術セミナー カーボンニュートラル実現に向けた環境・エネルギー関連装置における腐食問題と対策」(2024. 06. 24)
- (86) 協賛：(公財) 腐食防食学会「第199回腐食防食シンポジウム」(2024. 06. 27)
- (87) 協賛：(一社) 日本高圧力技術協会「HPI 技術セミナー 圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(2024. 06. 11~06. 12)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	JSSC
軽金属溶接協会	軽金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス	〃	ふえらむ
電気学会	電気学会誌	〃	ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本機械学会	日本機械学会誌	日本船舶海洋工学会	KANRIN (咸臨)
日本金属学会	まてりあ	日本接着学会	日本接着学会誌
日本建築学会	建築雑誌	日本非破壊検査協会	非破壊検査

6. 国際活動（定款4条項4）

6.1 国際溶接学会（IIW）関連

日本溶接会議（JIW）の活動を通じて、国際溶接学会（IIW）の活動に参加した。2023年第76回年次大会は、シンガポールで開催され、参加登録者は46カ国から806名となった。中国からの参加は145名で海外からの参加者として一番多かった。ドイツは101名、日本は30名、韓国が74名である。

6.2 アジア溶接連盟（AWF）関連

5月に中国（アモイ）にて、10月にはフィピン（マニラ）にて対面の会議を持った。

6.3 機関誌の交換

次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。なお、交換した機関誌は溶接会館図書室にて開示している。

誌名	国名
WELDING JOURNAL	アメリカ
Schweiss-& Pruftechnik	オーストリア
Soldagem & Inspecao	ブラジル
Welding and Cutting	ドイツ
DVS MAGAZIN	〃
Hitsaus Tekniikka	フィンランド
Rivista Italiana della Salddatura	イタリア
Sudura	〃
Lastechniek	オランダ
Biuletyn(Instytutu Spawalnictwa)	ポーランド
Welding & Material Testing	ルーマニア
Svetsaren	スウェーデン
Welding International	イギリス
Weldpoint	シンガポール

II 会務報告

1. 第91回 定時総会

日時 2023年4月13日(水) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時10分

開催方式 TeamsによるWeb会議

議決権を有する者：代議員(社員) 85名

出席 31名

委任状 38名

合計 69名

議事

- | | |
|--------------------------|----|
| ① [第1号議案] 2022年度事業報告承認の件 | 承認 |
| ② [第2号議案] 2022年度決算報告の承認 | 承認 |
| ③ [第3号議案] 監査報告 | 報告 |
| ④ [第4号議案] 名誉員の推薦の件 | 承認 |
| ⑤ 2023年度事業計画の件 | 報告 |
| ⑥ 2023年度予算の件 | 報告 |
| ⑦ 名誉員・特別員の推薦及び表彰の件 | |

名誉員の推薦

・廣瀬明夫

特別員の推薦

・小川和博、北側彰一、楠元一臣、古賀信次

溶接学会功績賞

・山岡弘人

溶接学会業績賞

・塚本雅裕

佐々木賞

・児玉真二、藤本光生

溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

・松尾孟・加茂孝浩・大丸成一

・庄司博人、速水俊広、森浩基、尾寄健人、永木勇人、大前暢、佐合大、大畑充

溶接学会論文奨励賞

・岩田匠平、武岡正樹

溶接学術振興賞

・小野数彦

妹島賞

・成田竜一、渡辺俊哉、石出孝

溶接学会ベストオーサー賞

・笠野和輝、朴勝煥

溶接学会技術貢献賞

・藤田 善宏、西畑ひとみ

溶接技術奨励賞

北海道支部：安藤哲也

東北支部：久保 真弓

東部支部：古川康広、野々村将一

東海支部：上田博士

北陸支部：推薦なし

関西支部：推薦なし

中国支部：田中 義和、

四国支部：中島 俊一

九州支部：狩峰 健一、古川 克彦

溶接学会優秀研究発表賞

溶接技術普及賞

北海道支部：横山真樹

東北支部：松坂 八州男、真木 寛

東部支部：推薦なし

東海支部：加藤宏哉

北陸支部：推薦なし

関西支部：推薦なし

中国支部：川田 大介

四国支部：大澤兼治

九州支部：古賀 健太郎、中武 豊

2022年度春季全国大会：佐藤祐理子、浅野涼、伊藤鉄朗、山下享介

2022年度秋季全国大会：小西恭平、野口敦司、中村元紀、佐原直樹、山崎一磨、飯田健太
溶接学会優秀ポスター発表賞

・魚澄将俊、窪田凌士、渡會 和己

溶接学会シンポジウム賞

溶接構造シンポジウム賞

シンポジウム論文賞

・萱森陽一、菅田登

・高木芳史、崎本隆洋、植田圭治、伊木聡、森影康、半田恒久

シンポジウム奨励賞

・小貫翔馬 君（東京ガス(株)）

・伊藤環 君（広島大学）

Mate 2024

Mate 2024優秀論文賞

・熊田泉実、高柳毅、石橋大輔、坂井雄一、清水孝晃

Mate 2024奨励賞

・高尾蒨茜、渡會和己

溶接学会奨学賞

北海道支部：推薦なし

東北支部：窪田 凌士

東部支部：正木丈翔

北陸支部：推薦なし

東海支部：張昊晨、小林航大

関西支部：井坂颯、松岡諒、岡海太、松田哲大、正力一樹、浅井郁海

中国支部：甲斐直人

四国支部：推薦なし

九州支部：岩谷 航希、河野 大輔

⑨ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及びその活用状況報告

⑩ 感謝状贈呈(送付)

⑪ 中国支部（2022年度秋季全国大会開催担当）

2. 理事会（定例6回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算

① 2023年度事業報告・決算について承認し、定時総会に諮ることとした。

② 2024年度事業計画・予算について承認し、定時総会に報告することとした。

③ 2026年度に迎える溶接学会創立100周年に向け特別事業会計を設置した。

(2) 学会組織運営

① 新型コロナウイルス感染症への対応として2023年6月からハイブリッド方式の会議開催ガイドラインを策定し運用を図った。

② 2023年度各賞授賞審査委員長を指名し、審査委員会について承認した。

(3) 学会活性化・効率化

① 2023年度名誉員・特別員を推薦し、2023年度各賞受賞者について承認した。

② 春季全国大会時の日本溶接協会専務理事に特別講演「IIW2022がもたらしたもの一示された溶接界の未来」・シンポジウム「電気自動車の溶接・接合技術」を開催した。

③ 秋季全国大会時の日本溶接協会との共同企画としてワークショップ「積層造形技術の動向と実装化に向けた取り組み」と技術セッション「溶接・接合プロセスのデジタル化によるDXの取り組みと教育・技能伝承」を、溶接接合工学会振興会授与の木原賞・金澤賞業績講演と日本溶接協会の次世代を担う研究者助成事業の成果報告会を開催した。

(4) 研究委員会活動

① 各研究委員会の活動はオンライン、オンライン併用等の形態で順調に活動が実施できている。オンラインによる活動のため、かなりの経費が節減できている。

② Mate2024シンポジウムを共同開催し、溶接学会シンポジウム賞授賞について承認した。

(5) 国際対応

- ① 日本溶接会議(JIW)の活動を通じ、国際溶接学会(IIW)の活動に参画した。第76回年次大会・国際会議(シンガポール大会)2023年7月16日~21日、対面にて開催した。76カ国から806名の参加者があり盛況であった。国内参加者は80名であった。
- ② 5月に中国(アモイ)にて、10月にはフィピン(マニラ)にて対面の会議を持った。

3. JIW 共同企画委員会

年度内2回の委員会を開催し、下記事項について検討を行った。

- (1) JIW 理事会に関する報告
2023年IIW年次大会参加者数の報告。
- (2) 若手研究者へのIIW参加登録支援の報告
今年度のIIW年次大会にJIWとして参加登録料の支援を行った。支援の案内については溶接学会のメーリングシステムを使用し溶接学会会員へ案内を行った。
- (3) 積層造形技術での協力
日本溶接協会が実施を計画している積層技術に関する認証制度において溶接学会が学術部門へ協力することが要請された。

4. 業務委員会活動

4.1 企画委員会(大畑 充 委員長)

年度内5回の定例委員会を開催し、学会の再活性化のために、以下の活動基盤強化アクションを展開した。

- (1) 日本溶接協会との連携強化: JIW 共同企画委員会において策定した中長期的な活動ビジョンに基づき、人材育成・教育、アディティブ・マニュファクチャリング(AM)などの新規分野開拓、本会若手会員の会と連携したアウトリーチ活動、広報・出版を通じて更なる連携強化に努めることとした。
- (2) 財務強化アクション: 全国大会運営委員会、溶接教育委員会、財務強化委員会と連携して、2023年度の学会活動の維持・発展と学会財務の健全性確保に取り組み、定例の全国大会、教育関連の各種講習会(入門講座、夏季大学、専門講座、企画講座)を企画し、オンラインシステムを活用しながら効果的に開催した。全国大会の完全対面開催の復活やオンラインを活用した講習会の状況により、黒字を維持することに成功した。他方、今後の財務状況の適正化を目指し、会員メリット明確化、デジタルコンテンツのWEB配信を含めた会員サービスの向上など会勢増強に向けた具体的施策を検討・実施し、財務強化に資するアクションを実行することとした。また、財務強化委員会と連携して、2023年度予算から『溶接学会100周年記念事業基金』を新設した。さらに、フェローの規定見直しに関わるWGでの検討により、2024年度から“寄付制度”から“特別年会費制度”に変更することとし、若手育成および諸活動の財政基盤となる溶接学会記念基金の充実を図ることとした。
- (3) オンライン化アクション: 一昨年度に企画委員会内に設置されたオンライン化WGで構築したオンデマンド方式オンライン会議システムを、溶接教育委員会と連携して各種講習会への活用を図った。
- (4) 全国大会アクション: ポスト・コロナにおける春季全国大会と秋季全国大会の在り方について、全国大会運営委員会と連携して継続・検討した。春季全国大会では、本会オリジナルのオンデマンド方式にライブ方式を効果的に組み合わせ完全オンライン開催を実行し、また、秋季全国大会では完全対面形式での開催を実現し成功裏に終えることができた。今後、これらの経験と知見を基に、オンライン開催の会員サービスや財務の観点からの利点を考慮しながらも、会員相互の学術交流の場の提供を最重視し、春季・秋季全国大会は完全対面形式で実施することとした。引き続き、日本溶接協会、軽金属溶接協会、日本接着学会など他学協会との連携、さらには各支部との連携の在り方などについて検討を進める。
- (5) 教育関連アクション: 学会主催の講習会(入門講座、夏季大学、専門講座、企画講座)については対面開催を一部復活させ、オンラインシステムを活用しながら柔軟に開催した。デジタルコンテンツの活用方法と講習会プログラムの一貫性について検討しながら、受講者数の増加に向けた施策を検討することとした。
- (6) 編集出版アクション: 学会誌内容の刷新(企画講座)、「溶接技術」誌との協業(寄稿)、論文集の活性化(特集号の刊行)を進めた。特に、マイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会との連携による特集号企画を通じた論文集の掲載数増加に貢献した。また、学会誌記事の一部をWeb配信することについて、会員の要望を反映する方策を検討した。
- (7) 論文査読・審査アクション: 電子査読システムEditorial Managerの導入により、査読者へ

の利便性と査読期間短縮を推進しながら、投稿原稿の書式、査読報告書書式、査読フローの見直しを行い、使いやすい電子査読システムへの改善検討を継続して行った。

- (8) 研究委員会アクション：論文集の活性化に向けた特集号の継続的な刊行を推進するため、研究委員会の持ち回り制を継続して遂行した。
- (9) 情報化アクション：溶接情報化委員会と連携しながら、学会ホームページをリニューアルし、会員へ提供する各種サービスの充実・強化を図った。
- (10) 国際交流アクション：多くの国際会議等がオンライン開催化される中、本会の国際交流の在り方や海外に向けたサービスについて継続検討した。
- (11) 若手活性化アクション：若手会員の会主催によるイブニングフォーラム、オンラインを活用した勉強会、秋季全国大会ポスターセッションなどの企画・開催を推進した。また、グローバルネットワーク活動を本格的に再開し、国際会議参加費助成を行った。

4.2 溶接情報化委員会（藤井 英俊 委員長）

本会の情報化方針をふまえて、本会の情報発信に関する以下の活動を実施した。

- (1) 学会活動の情報発信強化、セキュリティ対策の向上、会員・賛助員へのサポート向上等を目的に、学会ホームページを整備した。
- (2) 全国大会や講習会等の主催行事情報、日本溶接協会や軽金属溶接協会等の関連団体のリンク掲載や最新情報の提供などを随時実施し、学会HPの充実をはかった。
- (3) 本会の会誌、論文集、及び全国大会講演概要を、学会ホームページ(HP)から J-STAGE (科学技術振興機構の総合学術電子ジャーナルサイト)にリンクを張って以下のように公開中である。
 - ・学会誌：創刊号～第 93 巻第 1 号(2024 年度)までを J-STAGE にアップロードして公開している。
 - ・論文集：第 1 巻(1983 年度)～第 42 巻 1 号(2024 年度)までを J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。
 - ・講演概要：2003 年度秋季大会～2023 年度秋季大会までを J-STAGE にアップロード済みで一般公開している。

4.3 編集委員会（佐藤 裕 委員長）

溶接学会誌ならびに溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集は WEB 論文集として発行した。溶接学会誌は年 8 号を刊行し、下記に示す 7 回の特集と 1 回のレビュー&トレンドの企画を行った。タイトルは以下のとおりである。

- 「ものづくりの未来を支える溶接・接合人材の育成」
- 「サブマージアーク溶接の進化と今後の活用展開」
- 「溶接構造物維持規格における溶接残留応力影響考慮法の適正化のために」
- 「最新の非破壊検査技術動向」
- 「溶接・接合をめぐる最新の動向」
- 「様々な 3D 造形技術の最前線」
- 「2023 年度 次世代に“つなぐ”溶接・接合研究への想い」
- 「レビュー&トレンド：ASME 圧力容器規格の歴史と最近の動向」

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター115 名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、2022 年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告を Vol. 92, No. 5 に掲載した。アンケート結果も考慮して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者 2 件を選考した。

溶接学会論文集での特集関連:企画委員会発議で、研究推進部会にて調整され、各研究委員会持ち回りにて企画することになった特集号では、第 1 回：溶接冶金研究委員会、第 2 回：溶接法研究委員会、第 3 回：軽構造接合加工研究委員会に引き続き、マイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会が第 4 回を合同で担当し、9 件の投稿があり、41 巻 4 号(2023 年)の p. 337-415 に掲載された。2024 年度は溶接構造研究委員会と溶接疲労強度研究委員会が合同で担当する。

Welding International (WI) 誌への翻訳掲載動向:WI への翻訳掲載もに関して、溶接学会論文集 Vol. 41 (2023 年)の状況を以下に報告する。溶接学会論文集 Vol. 41 の No. 1, 2, 3, 4 に掲載の論文からそれぞれ 10, 4, 1, 6 論文が採択された。このうち No. 1 および 2 の採択論文は翻訳、著者確認、Editor in Chief 確認が終了し、WI の Vol. 37 の No. 8-12, Vol. 38 の 1-2 に公開済である。

学会誌ビジョン WG による「溶接学会誌」と「溶接技術」の協業:「溶接技術」に溶接学会から 1 頁

の情報記事「溶接学会ニュース」を継続して寄稿中。寄稿記事内容は学会誌目次を中心に共通講座(入門講座、夏季大学)、分野別講座(専門講座)、企画講座、各支部、研究委員会情報などの発信で構成している。

溶接学会論文集年間論文受付件数：年間論文受付の変化(各分野、企業/中立機関別のまとめ)を編集委員会、企画委員会、理事会にて情報共有中である。

科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、溶接学会誌は創刊号からを対象として、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から一般公開した。

4.4 論文査読・審査委員会(山根 敏 委員長)

電子査読システムに関して、Editorial Managerのみとなり、特集号などにも対応できるようになった。このシステムを査読者が用いたときに、システムの表示が分かりにくい項目などがあり、これらを修正した。また、Express 投稿論文に関して、投稿論文体裁等が不備なものや投稿などや修正期間が長いものなどがあり、このことに対する対応を査読手順により行った。コロナ禍での在宅勤務が増えているため、Express 投稿論文の査読者を確保しにくいと、本年度も Express 投稿論文の受付を停止している。年間論文受付数は36件であり、特集号を開始後、昨年までは40件台を維持していたが、今回、若干少なくなった。昨年度と異なり、特集号では査読対象となる分野が絞られたため、原稿受付から掲載決定までの平均日数は、昨年度よりも短くなり、109日であった。査読上の課題があり、論文原稿投稿著者および査読者が互いに敬意を払い査読回答の作成などを行うための査読マニュアルなどの作成にとりかかっている。論文査読に関する疑義照会があり、どのように対応していくかについての検討も行った。

4.5 全国大会運営委員会(伊藤 和博 委員長)

- (1) 年度内1回の委員会を全国大会会場の現地で開催し、2023年度春季・秋季全国大会および2024年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第112集および第113集を編集発行した。
- (3) 2023年度秋季および2024年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 2023年度秋季全国大会を対面で開催するにあたり、北陸支部全国大会実行委員会と協力しながら企画イベントの運用方針を整備した。支部行事の技術セッション、ワークショップに加え、溶接接合工学振興会授与の木原賞・金澤賞業績講演と日本溶接協会の次世代を担う研究者助成事業の成果報告会を開催した。昨年追加整備した参加受付システムは順調に機能し大会受付前の混雑解消に役立っていた。
- (5) 2023年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに2023年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (6) 優秀な口頭発表に対する「エクスプレス・WL」投稿の無料特典者の推薦制度について、2023年度春季全国大会において0件、2023年度秋季全国大会において3件の推薦を決定した。これに伴い、学会事務局より該当者へ推薦の通知を行うとともに、「エクスプレス・WL」投稿の特典(1年間有効)を贈呈した。
- (7) 2019年度春季全国大会から設定した「業界セッション」として、2023年度秋季全国大会にて、「自動車：6セッション」を実施した。
- (8) 2023年度秋季全国大会において、北陸支部と日本溶接協会北陸支部との共催にて「技術セッション」、「ワークショップ」を開催した。
- (9) 2024年度春季全国大会の開催形式について議論し、国際ウエルディングショーとの連携を図ったが適当な会場を押さえられず、大阪大学中ノ島センターにて対面開催することとし、開催日程を従来と異なり月曜から水曜とし、水曜午後に国際ウエルディングショー会場にて連合講演会を対面開催することとした。

4.6 溶接教育委員会(藤井 英俊 委員長)

- (1) 年度内2回の委員会(4月、9月)を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
 - (2) 2023年度溶接入門講座を2回開催した。(前掲)
 - (3) 2023年度溶接工学夏季大学を1回開催した。(前掲)
 - (4) 2023年度溶接工学専門講座を1回開催した。(前掲)
 - (5) 2023年度溶接工学企画講座を1回開催した。(前掲)
- なお、今年度はそれぞれの講習会をハイブリッド方式、オンデマンド配信方式、対面方式にて実施した。

- (6) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会 (IIW) 溶接技術者資格制度特認 コースの試験が 1 回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 9 名, IWS 0 名, IWT 3 名がディプロマを取得した。
- (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムの IIW 履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
- (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関(大学・高専・工業高校)の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所の IIW-ATB 活動の支援 を行った。その結果、IWE 4 名が最終筆記試験に合格し、ディプロマを取得した。
- (9) 委員会内に講習会 WG を設置し、講習会全体の今後のあり方につき協議した。講師の交代も含めて次年度の実施内容に反映させる。

4.7 国際交流委員会 (青山和浩委員長)

- (1) 日本溶接会議(JIW)の活動を通じ、国際溶接学会 (第 76 回 IIW 年次大会 : 7 月 16 日~21 日、シンガポール) に参画した。47 カ国から 817 名が参加し、成功裏に終了した。
- (2) アジア溶接連盟 (AWF) は、5 月に中国 (アモイ) にて、10 月にはフィピン(マニラ)にて対面の会議を持った。

5. 若手会員の会運営委員会 (鵜田駿委員長)

5.1 若手会員のためのフォーラム

(1) 春季全国大会イブニングフォーラム

日時 : 2023 年 4 月 27 日 (木) 15:00~17:00

主題 : 若手研究のニーズ/シーズマッチング

開催方式 : Remo Conference によるオンライン開催

講演 : 浅山智也氏 (ダイヘン)、小貫翔馬氏 (東京ガス)、
庄司博人氏 (大阪大学)、武岡正樹氏 (川崎重工業)
鵜田駿氏 (東北大学)、三浦拓也氏 (大阪大学)

(2) 秋季全国大会ポスターセッション

日時 : 2023 年 9 月 14 日 (木) 16:00~18:00

開催場所 : 富山大学 五福キャンパス総合教育研究棟 3 階 35 講義室

発表件数 : 55 件

5.2 若手会員のための研究会

(1) 第 1 回研究会

日時 : 2023 年 8 月 4 日 (金) 15:00~17:00

講演 : 巽裕章氏 (大阪大学)、長谷川諒氏 (青森県産業技術センター)、Hong Seong Min 氏 (大阪大学)

(2) 第 2 回研究会・施設見学会

日本金属学会 若手研究グループ「CO2 ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ」との合同開催

日時 : 2023 年 10 月 13 日 (金) 9:30~11:00

場所 : 東北大学工学研究科 (宮城県仙台市)

講演 : 山本啓氏 (大阪大学)、井田駿太郎氏 (東北大学)、畠山友孝氏 (NIMS)、山下正太郎氏 (大阪大学)、山下享介氏 (大阪大学)、味戸沙耶氏 (東北大学)

見学会 : 次世代放射光施設 NanoTerasu (ナノテラス) (宮城県仙台市青葉区荒巻)

5.3 グローバルネットワーク活動

(1) 国際会議参加費助成

鈴木聖顕氏 (東北大学)、藤尾駿平氏 (大阪大学)、相原巧氏 (大阪大学)、秦斗哉 (新居浜工業高等専門学校)

5.4 広報および情報交換

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、WEB 勉強会の報告等を掲載した。

(2) 溶接学会誌の「スポットライトー若手の特集記事ー」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を 6 件、特集記事「次世代に“つなぐ”溶接・接合研究への想い」を掲載した。

(3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。

(4) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進した。

有効登録者数約 240 名 (2024 年 2 月 20 日現在)

E-mail 投稿数約 40 通 (2022 年 3 月 1 日から 2023 年 2 月 20 日まで)

5.6 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

(1) 第68回運営委員会

開催方式：WEB会議

日時：2023年4月28日（金）10:00～11:00

出席：26名（委任9名）

(2) 第69回運営委員会

開催場所：富山大学五福キャンパス

日時：2023年9月14日（木）12:00～13:00

出席：17名（委任18名）

6. その他の諸会合

支部長連絡会議（理事会合同開催）

2回（ハイブリッド開催、対面開催）

7. 会勢

会員数（2023年2月末現在）

	賛助員		個人会員						団体員	
	会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数
2020.2	333	774	31	74	10	2,193	200	2,508	24	24
2021.2	326	751	32	71	10	2,155	216	2,484	23	23
2022.2	315	731	35	69	8	2,141	207	2,460	23	23
2023.2	315	730	35	71	7	2,094	212	2,419	22	22
2024.2	315	724	34	73	7	2,056	194	2,364	20	20

Ⅲ 2023年度 支部報告

1. 北海道支部（櫻庭洋平支部長）

1. 事業

1.1 2023年度技術講習会

本年度は未実施

1.2 見学会

日時：2023年10月19日(木) 15:15～15:30

場所：北海道立総合研究機構工業試験場

参加者：29名（溶接法研究委員会と合同開催）

内容：1. 北海道立総合研究機構および工業試験場の概要紹介

2. 溶接、レーザー加工、AM、非破壊検査、材料分析設備の見学

2. 会務

2.1 2023年度支部商議員会並びに支部総会

新型コロナウイルスの解除時期が予測できなかったため、今年度の商議員会および支部総会を中止した。

2.2 各賞授賞審査および選考

2023年度の各賞の審査および選考を書面審議により行った。

(1) 溶接学会溶接技術普及賞 1名

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞 1名

(3) 溶接学会北海道支部学生奨学賞 2名

2.3 表彰

(1) 2022年度溶接技術奨励賞

安藤 哲也 氏（室蘭工業大学大学院）

支部総会の中止に伴い、賞状および副賞の郵送を以て表彰式に代えることとした。

(2) 2022年度溶接技術普及賞

横山 真樹 氏（北海道職業能力開発大学校）

支部総会の中止に伴い、賞状および副賞の郵送を以て表彰式に代えることとした。

(1) 2022年度北海道支部学生奨学賞

中村 幸平 氏（室蘭工業大学大学院）

賞状および副賞を推薦者の指導教官に郵送し、同校の学位授与式に授与した。

(4) 2023年度 第29回北海道地区溶接技術競技大会

日時：

（開会式）2023年 6月24日(土)

（競技会）2023年 6月25日(日)

（表彰式）2023年 8月 3日(木)

場所：

（開会式）北海道立苫小牧高等技術専門学院

（競技会）同上

（表彰式）ANAクラウンズプラザホテル札幌

（一社）溶接学会北海道支部長賞および副賞を成績最優秀者2名に授与した。

・被覆アーク溶接の部 小島 瑛義 氏(北海道パワーエンジニアリング(株))

・半自動アーク溶接の部 青山 章吾 氏((株)安田鉄工所)

2.4 幹事会

第1回（全国大会実行委員会を兼ねて実施）：

2023年10月31日(火) 10:00～11:00 Web開催

※ この他、協議案件ごとにメール審議を随時実施。

2.5 全国大会実行委員会

見山克己実行委員長（北海道科学大学）の招集により、本年度は以下の通り実施した。

・実行委員会 準備会議

2023年10月31日(火) 10:00～11:00 Web開催

・実行委員会 準備会議

2023年12月7日(木) 16:30～17:30 場所：北海道科学大学

・第一回実行委員会 キックオフ会議

2024年1月17日(水) 16:30~17:30 Web開催

※ この他、協議案件ごとにメール審議を随時実施。

実行委員体制、会場レイアウト、特別講演、技術セッション、ワークショップについて協議。

2. 東北支部 (佐々木 正司 支部長)

1. 事業

1.1 第35回溶接・接合研究会

主催：溶接学会 東北支部

後援：日本材料学会東北支部

日時：2023年7月5日(金) 13:00 - 16:55

会場：鳴子温泉郷 中山平温泉 仙庄館

参加者数：15名

(IIW履修ポイント：2.1pt (M1: 1.2 pt, M2: 0.5 pt, M3: 0.2 pt, M4: 0.2

pt)、

WESクレジットポイント：4ポイント認定)

特別講演1件、講演7件

特別講演

「DICによるひずみ測定に関する最近の話題」

青山学院大学 米山 聡 氏

講演

- (1) レーザを利用した金属積層造形体の溶接と熱処理
岩手県工業技術センター ○園田哲也、黒須信吾、佐々木龍徳、桑嶋孝幸
- (2) LPBF法で得られたAl合金のマイクロ組織と機械的性質
東北大学 ○林飛勇向、鵜田 駿、佐藤 裕
(株)日立製作所 木村友則、川中啓嗣、保田雄亮、朴 勝煥
- (3) 放射光施設での分析、観察事例
岩手県工業技術センター ○桑嶋孝幸、園田哲也、黒須信吾
(株)釜石電機製作所 佐藤太郎
- (4) 金属-樹脂異材接合材強度評価
福島工業高等専門学校 ○鈴木茂和
- (5) 金属溶湯脱成分法前駆体 Ni-Fe-Cr 合金と汎用ステンレス鋼の重ね摩擦攪拌接合
東北大学 ○川田悠介、鵜田 駿、佐藤 裕、和田 武、加藤秀実
- (6) 工業用水中でのステンレス鋼鋭敏化組織の電位と微生物叢の相互作用
秋田大学 ○宮野泰征、田井光太郎
東北大学 鵜田 駿
INPEX 水上裕貴、砂場敏行
JAMSTEC 若井 暁
- (7) 通電加熱低変形接合を用いたステンレス鋼の同種材接合メカニズムの解明
東北大学 ○田村拓海、鵜田 駿、佐藤 裕

1.2 基礎セミナー

主催：溶接学会 東北支部

日時：2023年12月7日(木) 9:25 - 16:50

会場：岩手県 いわて県民情報交流センター アイーナ (岩手県盛岡市)

参加者数：20名

(IIW履修ポイント：3.6pt (M1: 1.1 pt, M2: 0.7 pt, M3: 0.8 pt, M4: 1.0

pt)、

WESクレジットポイント：7ポイント認定)

講演4件

- (1) 溶接法および溶接機器
岩手県工業技術センター 園田 哲也
- (2) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性

東北大学大学院工学研究科 鵜田 駿

(3) 溶接構造の力学と設計

福島工業高等専門学校 鈴木 茂和

(4) 溶接施工・管理

福島労働基準監督署 村井 信昭

2. 会務

2.1 第60回商議員会

2023年4月27日(木) 13:00~13:45

ZOOMによるオンライン開催

2.2 表彰

(1) 溶接技術奨励賞ならびに普及賞

2023年4月27日(木)

表彰式はZOOMによるオンライン開催

2022年度溶接技術奨励賞：1名

2022年度溶接技術普及賞：2名

(2) 溶接学会本部および東北支部奨学賞

2023年4月27日(木)

2022年度溶接学会奨学賞(報告)：1名

2022年度溶接学会東北支部奨学賞(報告)：2名

表彰日：2023年1月30日(月)

2022年度溶接学会東北支部奨学賞：2名

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に電子メール送信もしくは郵送(2023年7月11日付)

3. 東部支部(宮下幸雄支部長)

1. 事業

1.1 第48回実用溶接講座

主催：溶接学会 東部支部

開催日時：2023年12月26日(火) 13:00-17:30

開催場所：web開催

参加者：22名

題目：「異なる材料を接合する技術(異材接合)」

講演：

- 1) 「マルチマテリアル異材接合と接合部の性能評価」
大阪大学 廣瀬明夫 氏
- 2) 「マルチマテリアル化を実現する樹脂と金属の直接接合技術」
日本アビオニクス 安藤元彦 氏
- 3) 「低温鍛接法によるCu/Al異材接合 - 電極部品への展開」
富山県産業技術研究開発センター 山岸英樹 氏
- 4) 「SPR(セルフピアシングリベット)接合の動向と最新技術について」
アトラスコブコ 吉野将志 氏

1.2 溶接学会東部支部 第7回 溶接・接合研究交流会

開催日時：2023年12月7日(木) 16:00-17:00

開催場所：対面/web方式によるハイブリッド開催

長岡技術科学大学 東京サテライトキャンパス

参加者：11名(対面8名、web方式3名)

題目：「異なる材料を接合する技術(異材接合)」

講演：

- 1) 「溶接技能獲得のための位置姿勢センサに関する研究」
埼玉大学大学院 関口 晃毅
- 2) 「自動溶接装置を用いた高圧水素用ステンレス鋼管の溶接」
山梨県産業技術センター 宮川和幸
- 3) 「溶接部のひずみ測定」
長岡技術科学大学 宮下幸雄

1.3 地区講演会・講習会など

(1) 東京地区 (地区委員長：笹木聖人(日鉄溶接工業))

本年度は実施せず。

(2) 神奈川地区 (地区委員長：古川尚英 (神戸製鋼所))

本年度は実施せず。

(3) 千葉地区 (地区委員長：前田将克 (日本大学))

本年度は実施せず。

(4) 埼玉地区 (地区委員長：金子裕良 (埼玉大学))

本年度は実施せず。

(5) 群馬地区 (地区委員長：荘司郁夫 (群馬大学))

本年度は実施せず。

(6) 栃木地区 (地区委員長：菅野金一 (関東職業能力開発大学校))

本年度は実施せず。

(7) 茨城地区 (地区委員長：宮城雅徳 (日立製作所))

本年度は実施せず。

(8) 山梨地区 (地区委員長：宮川和幸 (山梨県産業技術センター))

本年度は実施せず。

(9) 長野地区 (地区委員長：中込忠男 (信州大学))

本年度は実施せず。

(10) 新潟地区 (地区委員長：宮下幸雄 (長岡技術科学大学))

新潟地区講演会

主催：(一社)溶接学会 東部支部、(公社)日本材料学会 北陸信越支部、(公財)燕三条地場産業振興センター

開催日時：2022年10月21日(金) 13:00～16:00

開催場所：(公財)燕三条地場産業振興センター リサーチコア7F マルチメディアホール
(新潟県三条市須頃1-17)

参加者：47名

題目：「材料と加工技術による製品の付加価値化 ～材料から仕上げまで～」

講演：

1) 「くらしを快適にする鋼板」

日本製鉄株式会社 技術開発本部 鉄鋼研究所 表面処理研究部 部長 植田 浩平 氏

2) 「電解研磨と溶接ロボットのノズル用スパッタ付着防止剤について」

株式会社タセト 技術部 化学品技術グループ 主任 山村 亮平 氏

3) 「ロボット研磨の落とし穴 - 適切な研磨材選定の重要性」

スリーエム ジャパン イノベーション株式会社 研磨材製品技術部

アプリケーションエンジニア 佐藤 津紀夫 氏

2. 会務報告

2.1 2023 年度支部通常総会

開催日時：2023 年 7 月 6 日(木)12:00 ～ 2023 年 7 月 12 日(水)12:00

開催場所：メール会議

議 題：

1) 2022 年度 事業報告および会務報告 (報告事項)

2) 2022 年度 支部決算報告 (報告事項)

3) 2022 年度 監査報告 (報告事項)

4) 2023 年度 事業計画 (報告事項)

5) 2023 年度 収支予算 (報告事項)

2.2 常任幹事・地区委員長会議

第 215 回 2023 年 7 月 13 日 (木) 15:00～17:00 ハイブリッド (対面/web 会議)

第 216 回 2023 年 9 月 8 日 (金) 15:00～17:00 web 会議

第 217 回 2023 年 12 月 7 日 (木) 14:00～16:00 ハイブリッド (対面/web 会議)

第 218 回 2024 年 1 月 25 日 (水) 13:00～15:00 web 会議

2.3 各賞受賞審査委員会

2023 年度 溶接学会 東部支部 各賞審査委員会を下記のように組織し、書面審査した。

- ・溶接技術奨励賞 審査委員会：宮下幸雄 委員長、宮川和幸 委員、瀬戸直樹 委員、野木俊克 委員、加藤剛 委員、北野萌一 委員 (6名)

・溶接技術奨励賞 審査委員会：宮下幸雄 委員長、宮川和幸 委員、瀬戸直樹 委員、
野木俊克 委員、加藤剛 委員、北野萌一 委員（6名）
審査期間：2024年1月25日（木）～2024年1月31日（水）
審査結果報告：2023年1月31日（水）
審査の結果、2023年度各賞候補者をそれぞれ下記の各氏（敬称略）にすることを決定した。

【溶接技術奨励賞】

橋場裕治 氏（日本製鉄（株））

【溶接技術普及賞】

なし

【溶接学会奨学賞】

藤田慎之介 氏（埼玉大学大学院）

小山真里奈 氏（群馬大学大学院）

2.4 表彰

1) 2022年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞の表彰

2023年7月表彰状を推薦者に送付し、推薦者から下記受賞者に表彰状を授与して表彰した。

【溶接技術奨励賞】

古川康広 氏（東芝エネルギーシステムズ(株)）

野々村将一 氏（(株)IHI）

【溶接技術普及賞】

なし

2) 2022年度溶接学会奨学賞の表彰

2023年3月楯を推薦者に送付し、推薦者から下記受賞者に楯を授与して表彰した。

【溶接学会奨学賞】

正木丈翔 氏（埼玉大学大学院）

4. 東海支部(植松美彦支部長)

1. 教育・研究事業

1. 1 溶接研究会，溶接技術講習会

(1) 溶接研究会

第103回 令和5年3月9日（水）13：25～16：40

ハイブリッド形式

現地：岐阜大学サテライトキャンパス 多目的会議室 14名

オンライン：Microsoft Teams 28名

研究会テーマ 「Additive Manufacturing」

「AMに貢献する材料開発の取り組み」

大同特殊鋼(株) 上仲 明郎 氏

「AMならではの材料の開発とAMソリューションの提供」

(株)プロテリアル 大坪 靖彦 氏

「AMの最新事情とWAAMによる大型構造物への適用事例」

愛知産業(株) 木寺 正晃 氏

「LMD方式積層造形と切削加工の工程集約事例」

オークマ(株) 山本 誠栄 氏

第104回 令和5年9月19日（火）13：25～16：35

共催：日本溶射学会中部支部

ハイブリッド形式

現地：ウインクあいち1007 会議室 22名

オンライン：Microsoft Teams 39名

研究会テーマ 「水素社会実現に向けた溶接・溶射」

「NEDO の水素社会実現に向けた取組について」

新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 堀口 柊 氏

「国際水素サプライチェーン構築に向けた取組み ―液化水素タンクの溶接技術開発―」

川崎重工業(株) 渡辺 大介 氏

「水素タンク開発を通じた水素社会への貢献」

豊田合成(株) 代田 幸平 氏

「GX 実現に向けた岩谷産業の取り組み」

岩谷産業(株) 吉田 佳史 氏

「溶接した SUS304 への化学酸化処理などを用いたバリア膜形成による水素透過性に及ぼす影響」

(株)アサヒメッキ 川見 和嘉 氏

第 105 回 令和 5 年 12 月 22 日 (金) 13 : 45 ~ 16 : 35

ハイブリッド形式

現地 : 名古屋市工業研究所 管理棟 4F 第 3 会議室 15 名

オンライン : Microsoft Teams 27 名

研究会テーマ 「3D プリンティング」

「金属 3D プリントによるステンレス製大型ベンチの製作」

(株)竹中工務店 木下 拓也 氏

「レーザ式金属粉末床溶融結合法 (PBF-LB/M) のプロセスウィンドウ予測手法」

近畿大学 池庄司 敏孝 氏

「金属 AM 技術の最新技術動向」

愛知産業(株) 木寺 正晃 氏

「高出力ダイレクト LD によるレーザクラッド及び積層造形の最新動向」

Laserline(株) 皆川 邦彦 氏

2. 会務

2.1 令和 5 年度支部 総会および特別講演

日時 : 令和 5 年 5 月 31 日 (金) 14 : 30 ~ 16 : 35

ハイブリッド形式

現地 : 名古屋市工業研究所 電子技術総合センター1F 視聴覚室 14 名

オンライン : Microsoft Teams 11 名

総会議題

1) 令和 4 年度事業報告及び決算報告

2) 令和 4 年度溶接学会技術賞支部授賞式:

溶接技術奨励賞受賞者 : 上田博士君

溶接技術普及賞受賞者 : 加藤宏哉君

3) 令和 5 年度事業計画案及び令和 5 年度予算案

5) その他

特別講演

「界面・表面創製研究を振り返って」 豊橋技術科学大学名誉教授 福本昌宏 君

2.2 支部商議員会

第 1 回支部商議員会

令和 5 年 5 月 31 日 (金) ハイブリッド

3. その他 協賛行事等

なし

5. 北陸支部(柴柳敏哉支部長)

1. 事業

1.1 講演会（溶接学会秋季全国大会支部行事）

(1)（主催・協賛）

ワークショップ「3D 積層造形技術の動向と実装化に向けた取り組み」

日時：2023 年 9 月 14 日（木）10:00～17:00

場所：富山大学教育研究総合棟

協賛（一社）富山県溶接協会（一社）石川県溶接協会（一社）福井県溶接協会

趣旨説明「金属 AM 技術への期待と課題」

（一社）日本溶接協会 3D 積層造形技術委員会委員長・大阪大学名誉教授 平田 好則 氏

(1) 北陸 3 県の公設研究機関による AM 技術研究と地域支援の紹介

「金属 AM による内部欠陥入り試験片の強度評価」

福井県工業技術センター 主任研究員 森下 和幸 氏

「石川県工業試験場における金属 3D 積層造形技術の取組」

石川県工業試験場 機械金属部長 舟田 義則 氏

「地場伝統産業及び宇宙分野への実用化を志向した金属 AM の研究紹介」

富山県産業技術研究開発センター 主任研究員 山本 貴文 氏

(2) 基調講演 「金属 AM の現状と革新ツールとしての可能性」

金沢大学 設計製造技術研究所 教授 古本 達明 氏

(3) 北陸地域の積層造形装置製造企業による最新技術動向

「ハイブリッド金属 3D プリンタ LUMEX による部品製作事例」

㈱松浦機械製作所（福井県） 技術本部 シニアチーフ 市村 誠 氏

「金属 AM で作る部品がもたらす可能性と、安定した加工を実現する残留応力開放技術」

㈱ソディック（石川県） 先端切削技術部 網岡 弘至 氏

「小型・薄肉部品への肉盛り加工を実現するマルチビーム式レーザクラッディングについて」

㈱村谷機械製作所（石川県） 製造部製品開発課 課長 左今 佑 氏

(4) AM 技術ユーザ企業による事例紹介

「Generative Design と AM を活用した産業用ロボットの拡張パーツ開発」 ㈱山本金属製作所（岡山市） 岡山研究開発センター 主任 真所 最 氏

「INCONEL 718 に対する、品質の再現性と製品の実用化へ」 埼玉車体㈱（狭山市）

埼玉工場 阿久津光雄 氏 「ガスタービン部品への AM 実用化」 三菱重工業㈱（高砂市）高砂タービン製造部 部長 片岡 正人 氏

(5) 総括（一社）日本溶接協会 3D 積層造形技術委員会副委員長 三菱重工業㈱アドバイザー・大阪大学招へい教授 石出 孝

技術セッション「溶接・接合プロセスのデジタル化による DX の取り組みと教育・技能伝承」

日時：2023 年 9 月 15 日（金）9:00～12:00

場所：富山大学教育研究総合棟

協賛（一社）富山県溶接協会（一社）石川県溶接協会（一社）福井県溶接協会

基調講演「溶接・接合作業の DX を目指したデジタル化と見える化」

東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授 青山 和浩 氏

技術講演

(1) 「温度・力の無線計測と CNC 通信を活用した FSW の条件適正化と品質保証」

㈱山本金属製作所 岡山技術開発センター 主任 鹽津 陵雅 氏

(2) 「IH はんだ装置を活用したリカーリングサービスの構想と実現」

㈱スフィックス・テクノロジーズ 白田 武史 氏

(3) 「3D デジタル溶接マスクを用いた溶接技能教育 DX」 川田工業㈱ 藤原 康平 氏

(4) 「デジタルツイン技術を用いた製造業におけるカーボンニュートラルの試み」

富山県立大学 教授 榊原 一紀 氏

まとめ討論 オーガナイザー：東京大学 青山 和浩教授

2. 会務

2.1 幹事会・商議員会

2024 年 3 月 26 日にメール審議にて開催。

議事：2023 年度活動報告

支部長交代の件

6. 関西支部（田中学支部長）

1. 事業

1.1 2023年度講演会

日時：2023年6月30日（金） 14:00～14:30

場所：Microsoft Teamsによるオンライン開催

出席者：19名

講演件数：1件

- ・数値シミュレーションによるアーク溶接プロセスの可視化技術とその展開
（大阪大学大学院工学研究科 荻野 陽輔 氏）

1.2 2023年度溶接学術振興賞 受賞記念講演

日時：2023年12月12日（火） 13:35～14:10

場所：株式会社小松製作所 大阪工場 別館C会議室

出席者：19名

講演件数：1件

- ・建設機械に適した新溶接プロセスの研究と実用化
（株式会社小松製作所 小野 数彦 氏）

1.3 2023年度講演・見学会，技術交流会

日時：2023年12月12日（火） 14:10～14:45（講演会）、14:50～17:35（工場見学会）、
18:00～20:00（技術交流会）

場所：株式会社小松製作所 大阪工場 別館C会議室

出席者：19名

講演件数：1件

- ・最近の理想化陽解法 FEM による解析事例の紹介
（大阪公立大学 大学院工学研究科 前田 新太郎 氏）

工場見学会：大型・中型組立ライン、溶接現場、匠の杜、生産技術開発センタ

技術交流会：コマツクラブにて開催（出席者：15名）

2. 会務

2.1 2023年度幹事会

日時：2023年6月30日（金） 13:00～14:00

場所：Microsoft Teamsによるオンライン開催

出席者：19名

議事：

- (1) 2022年度幹事会議事録について
- (2) 2022年度事業報告について
- (3) 2022年度支部決算報告、監査報告について
- (4) 2022・2023年度支部体制について
- (5) 溶接学会関西支部規約について
- (6) 2023年度事業計画について
- (7) 2023年度予算案について

7. 中国支部（濱田邦裕支部長）

1. 事業

1.1 講演会および講習会

1.1.1 溶接入門講座（溶接学会 溶接教育委員会と共催）

(1) 開催日時：2023年10月30日（月）、31日（火）

(2) 場所：RCC文化センター（対面とオンラインのハイブリッド開催）

(3) 受講者：34名

(4) 講演題目

(a) 溶接技術入門

(b) アーク溶接入門（原理・機器・制御）

(c) 接合プロセス入門（レーザ溶接等）

(d) 溶接設計入門

(e) 溶接冶金入門 (1)（鉄鋼材料を中心とした金属材料学と溶接冶金学の基礎）

(f) 溶接部の試験・検査入門

(g) 溶接冶金入門 (2)（ステンレス鋼，非鉄金属）

- (h) 溶接施工管理入門
- 1.2 溶接接合工学学修会（第 21 回）
 - (1) 開催日時：2023 年 8 月 29 日（火）
 - (2) 場所：RCC 文化センター（対面とオンラインのハイブリッド，参加者 21 名）
 - (3) 講義内容
 - (a) 溶接構造物の損傷例及び溶接法および溶接機器
 - (b) 溶接構造の力学と設計
 - (c) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性
 - (4) 講師：山本元道（広島大学）
- 1.3 2023 年度見学会（第 22 回）
 - (1) 開催日時：2023 年 11 月 8 日（水）
 - (2) 場所：株式会社シンコー 府中工場（広島県安芸郡）（参加者 39 名）
- 1.4 溶接学会中国支部主催「第 8 回 学生発表会」
 - (1) 日時：2023 年 12 月 20 日（水）
 - (2) 開催場所：広島大学ライブラリーホール
 - (3) 参加者：39 名
 - (4) 口頭発表（12 件）
 - (5) ポスター発表（17 件）

2. 会務

2.1 支部幹事会

2.1.1 第 1 回（支部商議員会・総会を同時開催）

日時：2023年3月30日（木）15：00～17：00

場所：ハイブリッド開催（RCC 文化センター）

議事：

- (1) 2022 年度事業報告
- (2) 2022 年度秋季全国大会実施報告
- (3) 2022 年度決算報告
- (4) 2023 年度事業計画
- (5) 2023 年度収支予算
- (6) 2022 年度表彰報告
- (7) 2023 年度の支部体制について
- (8) 溶接技術奨励賞受賞特別講演：田中義和 先生（広島大学）
- (9) その他

2.1.2 第 2 回（支部商議員会を同時開催）

日時：2024 年 1 月 9 日（火）

場所：メール審議

議題：

- (1) 2023 年度支部表彰について
- (2) その他

2.2 支部総会

日時：2023 年 3 月 30 日（木）15：00～17：00

場所：ハイブリッド開催（RCC 文化センター）

議事：

- (1) 2022 年度事業報告
- (2) 2022 年度秋季全国大会実施報告
- (3) 2022 年度決算報告
- (4) 2023 年度事業計画
- (5) 2023 年度収支予算
- (6) 2022 年度表彰報告
- (7) 2023 年度の支部体制について
- (8) 溶接技術奨励賞受賞特別講演：田中義和 先生（広島大学）
- (9) その他

2.3 表彰

- (1) 2022 年度溶接技術奨励賞
田中 義和 氏（広島大学）

- (2)2022 年度溶接技術奨励賞
川田 大介 氏 (三菱重工業 (株))
- (3)2022 年度溶接学会奨学賞
甲斐 直人 氏 (岡山大学大学院)
- (4)2022 年度溶接学会中国支部 山本正登奨学賞 (12 名)
- (5)2022 年度溶接学会中国支部 最優秀ポスター発表賞
久保 英毅 氏 (広島大学)
- (6)2022 年度溶接学会中国支部 優秀ポスター発表賞 (13 名)

溶接技術奨励賞および普及賞は 2023 年 3 月開催の支部総会において表彰
上記(3)-(6)の学生表彰は 2023 年 3 月に賞状・記念品を推薦者に送付し、修了式時に表彰

8. 四国支部

1. 主催事業

1.1 第 28 回溶接学会四国支部講演大会

日時：2023 年 3 月 3 日 (金) 13:00~15:45

場所：(一社)溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

講演数：7 件

参加者：24 名

講演内容：

1. ラングミュアプローブ法を用いた擬似火星大気における直流 GTA の計測装置の

改良

香川高等専門学校 ○福家育実、梶井皓太、正箱信一郎、寺嶋昇、山下智彦
大阪大学接合科学研究所 田中学、古免久弥

2. 擬似火星大気中における交流 GTA の電子密度計測システムの構築

香川高等専門学校 ○梶井皓太、福家育実、正箱信一郎、寺嶋昇、山下智彦、
大阪大学接合科学研究所 田中学、古免久弥

3. レーザ加熱によるアルミニウム合金の表面溶体化処理

阿南工業高等専門学校 ○山本武海、立石学、安田武司、奥本良博、西本浩司
九州大学先導物質化学研究所 井原史朗

4. 低ガスコスト・低スパッタ新溶接法「パルスガス MAG 溶接法」の開発

川田工業株式会社 ○藤原康平、津山忠久
愛媛大学大学院 理工学研究科 小原昌弘、水口隆

5. オーステナイト相比率の異なる溶接金属の機械的特性

新居浜工業高等専門学校 ○秦斗哉、真中俊明、日野孝紀、藤岡章太
四国溶材株式会社 中村優佑、宇野正記

6. ステライト 6 肉盛溶接金属部の合金元素添加および時効処理後の微細組織と熱疲労亀裂の進展挙動

愛媛大学大学院 理工学研究科 ○高橋佑明、水口隆
株式会社放電精密加工研究所 仁熊和哉、高沢祐之

7. 広視野可視化技術を備えた 3D デジタル溶接マスクの開発

川田工業株式会社 ○津山忠久
川田テクノロジーズ株式会社 林篤史、金平徳之、北川悟

1.2 見学会

日時：2023年11月16日（木）10：00～12：00

場所：兼松エンジニアリング株式会社テクノベース生産技術センター

参加者：46名

1.3 第31回溶接学会四国支部溶接技術実用講座

日時：2023年11月16日（木）13：30～16：30

場所：兼松エンジニアリング株式会社テクノベース生産技術センター

参加者：50名

講演内容：

1. 最先端の溶接技術、機器について

濱本康司氏（パナソニックコネクタ株式会社技術提携・アライアンス推進総括）

2. ステンレス鋼における配管の溶接技術と施工時の留意点

葛西省五氏（ウエルコンサルS5 所長）

3. 溶接士不足に対する人材確保及び人材育成

水沼 渉氏（一般社団法人 日本溶接協会専務理事）

4. 建築鉄骨業製造支援ソリューションの開発及びL'OCZHIT体験

宮村 一氏（有限会社宮村鉄工取締役）

1.4 刊行

出版物：(1)第28回溶接学会四国支部講演大会概要集(PDF配布)

(2)第31回溶接技術実用講座講演資料

2. 共催事業

2.1 非破壊検査技術者試験のための各種アーク溶接法と周辺技術の基礎

主催：（一社）日本非破壊検査協会四国支部

日時：第1回 6月14日(水)オンデマンド、第2回 6月22日(木)17：30～18：10

形式：会員限定無料オンライン

講師：野原英孝氏（徳島職業能力開発促進センター主幹 統括職業訓練指導員）

参加者：溶接学会会員から30名

講演内容：

- ・アーク溶接とは
- ・MAG溶接/MIG溶接の原理と特徴
- ・TIG溶接の原理と特徴
- ・溶接補修のためのガウジング加工

3. 後援事業

3.1 愛媛大学工学部附属船舶海洋工学センター5周年スタートアップシンポジウム

主催：愛媛大学工学部附属船舶海洋工学センター

日時：2023年11月22日(水)14:00～16:30

形式：ハイブリッド

講演内容：

1. 巨視的現象から考察した疲労過程と疲労設計の今後

豊貞雅宏 氏（九州大学名誉教授 愛媛大学客員教授）

2. 溶接技術の進展と展望

荒木孝雄 氏（愛媛大学客員教授）

4. 会務

4.1 2022-2023 年度 第 3 回幹事会

日付：2023 年 3 月 3 日（金）12:00～12:45

場所：（一社）溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

審議幹事：13 名

議題：

- 1) 2022-2023 年度第 2 回幹事会議事録について
- 2) 2022 年度学会表彰への支部推薦について
- 3) 2023 年度の活動計画について
- 4) 2022 年度決算状況について
- 5) 2023 年度支部予算(案)について
- 6) 2023 年度第 31 回四国支部溶接技術講座について

報告：

- 1) 第 28 回溶接学会四国支部講演大会の開催について
- 2) その他

4.2 2022-2023 年度第 4 回幹事会

日時：2023 年 11 月 16 日（木）12：15～13：15

場所：兼松エンジニアリング株式会社テクノベース生産技術センター

審議幹事：16 名

議題：

- 1) 2022-2023 年度第 3 回幹事会議事録の確認
- 2) 予算状況の途中報告
- 3) 他支部の活動状況について
- 4) 次回支部行事について
- 5) 3 月の支部講演大会について
- 6) 学会賞の推薦について
- 7) 2024-2025 年度支部代議員について
- 8) 2024-2025 年度支部総会について

5. 表彰者

2023 年度溶接学会溶接技術奨励賞 水口 隆 氏（愛媛大学）

2023 年度溶接学会溶接技術普及賞 第十 忍 氏（第十工業株式会社）

2023 年度溶接学会溶接技術普及賞 石村晃久 氏（株式会社 SKK）

2023 年度溶接学会奨学賞 福家育実 氏（香川高等専門学校）

2023 年度溶接学会奨学賞 秦 斗哉 氏（新居浜工業高等専門学校）

9. 九州支部（後藤 浩二 支部長）

1. 事業

1.1 2022 年度 溶接学会九州支部研究発表会

主 催：溶接学会九州支部

日 時：2023 年 8 月 31 日（木）9:30～16:30

場 所：Web 会議と対面（九州大学伊都キャンパス）のハイブリッド形式

参加者：49 名

研究発表：14 件（研究題目と発表者（○：講演者）は下記の通り）

- 1) レーザ・アークハイブリッド溶接を用いた裏当てレス1パス施工に向けた基礎検討
○小林 寛郎・鶴岡 寿樹 (九大 M) , 内村 友哉・後藤 浩二 (九大)
- 2) レーザ・アークハイブリッド溶接における横向水平溶接の施工法確立に向けた基礎検討
○鶴岡 寿樹 (九大 M) , 内村 友哉・後藤 浩二 (九大)
- 3) 溶接ビード形状の自動判定技術と再現技術の確立
○渡邊 彰吾, 小出 鷹史, 中野 正大 (高田工業所)
- 4) プロセス機器の長手継手を対象とした自動サブマージアーク溶接システム
○中野 真克・上川 健司・小林 優一・藤本 貴大・安部 正光・篠田 薫 (日立造船)
- 5) Cr-Mo 鋼溶接金属における PWHT 中のフェライトバンドの生成起点に関する研究
甲斐 和博・○福岡 辰太 (熊大 M) , 寺崎 秀紀 (熊大) , 中野 真克・安部 正光 (日立造船)
- 6) LIME 法を用いた低炭素鋼ミクロ組織識別の深層学習モデルの視点解釈
○合田 鈴之輔 (熊大 M) , 寺崎 秀紀 (熊大) , 筒井 和政 (日本製鉄)
- 7) 【論文発表】超音波アレイセンサーを用いたエアリーク検出装置の配管気密試験への適用に関する一考察
○楢 尚憲・服部 仁・金子 正幸・首藤 一也・荒金 卓也・緒方 洋典 (臼杵造船) , 松岡 和彦 (長総大) , 谷野 忠和 (久留米高専) , 矢島 浩 (矢島材料強度研究所)
- 8) 【論文発表】造船現場での超音波フェイズドアレイや溶接ビードレーザスキャナによる溶接継手応力集中部測定の実用化
○楢 尚憲・田口 浩幸・安東 洋次郎・金子 正幸・荒金 卓也・牟田良太郎・緒方 洋典 (臼杵造船) , 松岡 和彦・岡田 公一 (長総大) , 谷野 忠和 (久留米高専) , 矢島 浩 (矢島材料強度研究所)
- 9) 鉄・炭素混合粉内部に形成される浸炭雰囲気とそれに及ぼすアルミナ添加の影響
○村上 優翔 (久留米高専専攻科) , 森園 靖浩 (久留米高専) , 山室 賢輝・連川 貞弘 (熊大)
- 10) 真空雰囲気で実施可能な新しい固体浸炭技術の提案
○浦 悠太郎 (久留米高専専攻科) , 森園 靖浩 (久留米高専) , 山室 賢輝・連川 貞弘 (熊大)
- 11) 二相ステンレス鋼の溶接部の耐食性におよぼす溶接補修の影響
中野 正大・○山口 ちひろ (高田工業所)
- 12) 鋼板初期温度が抵抗スポット溶接のナゲット径および継手強度に及ぼす影響
○佐々木 洸 (九工大 M) , 北村 貴典・門脇 萌 (九工大)
- 13) 初期折れ加工による抵抗スポット溶接 L 継手の高強度化
○劉 泓江 (九工大 M) , 北村 貴典 (九工大) , 河野 大輔・小林 賢二郎 (九工大 M)
- 14) 銀ろう付けを併用した抵抗スポット溶接重ね継手の引張せん断強度に及ぼすろう付け位置の影響
北村 貴典 (九工大) , 植村 篤郎 (九工大 M) , 渡邊 海香 (九工大) , ○箕輪 遼太郎 (九工大 M)

1.2 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第 20 号

2. 会務

2.1 2023 年度 商議員会

2023 年 2 月 28 日 (Web 会議：実施日は前年度であるが今年度第 1 回の会)

上記以外に、表彰推薦関係、予算案等について書面回議を複数回実施

2.2 表彰

商議員の書面審議にて、以下の推薦・表彰を審議、承認。

溶接学術振興賞 (推薦) : 1 名

溶接技術奨励賞 (推薦) : 2 名

溶接技術普及賞（推薦） : 2名
溶接学会奨学賞（推薦） : 2名
九州支部奨学賞 : 2名
支部規定に沿って、以下の表彰を実施
九州支部優秀学生表彰 : 6名

2.3 2023年度 通常総会

日 時 : 2023年5月15日～5月19日（書面回議）
議事について異議無く承認された。

2.4 表彰式

COVID-19 影響のため中止とし、個別に授与した。